三日月大造

みかづき　たいぞう

51歳

Profile

1971年生まれ、滋賀県出身（京都府生まれ、滋賀県大津市育ち）

1979年　大津市立坂本小学校に転校

1982年　大津市立日吉台小学校開校

1984年　大津市立日吉台小学校卒業

1987年　大津市立日吉中学校卒業（軟式野球部、生徒会長）

1990年　滋賀県立膳所高等学校卒業（硬式テニス同好会創設、生徒会長）

1994年　一橋大学経済学部（財政学、石弘光ゼミナール）卒業後、
JR西日本に入社
広島支社にて駅員、電車運転士や営業スタッフなどに従事

1999年　JR西労組中央本部青年女性委員長（専従）、JR連合青年・
女性委員会議長を務める

2002年　松下政経塾23期生として入塾
（教育や福祉の現場実習等に取り組む）

2003年　衆議院議員初当選（4期連続当選）
国土交通大臣政務官、国土交通副大臣等を歴任

2014年　滋賀県知事に就任
「夢や希望に満ちた豊かさ実感・滋賀
～みんなでつくろう！ 新しい豊かさ～」の創造に取り組む

2018年　滋賀県知事（2期目）
未来へと幸せが続く「健康しが」づくりに挑戦中

討議資料

編集・発行

健康で元気な滋賀をつくる会

〒520-0051　滋賀県大津市梅林1-15-27

TEL 077-526-7148　FAX 077-572-9691

HP www.genki1.com　Mail kirari@genki1.com

facebook　三日月大造

コロナ対策

人類の歴史は、感染症と闘い、克服してきた歴史。
新型コロナウイルス感染症に対しても、まずは、正しく恐れ、
そして、滋賀らしく、「利他のこころ」を持って、
「いのち」と「社会」を守ります！

主な対策

❶感染拡大防止
- 高齢者施設等での一斉PCR検査　延べ:**22,794**人(R4.3末)
- ワクチン接種の推進　3回目接種率:**64.0**%(R4.5.26現在)

❷医療提供体制
- コントロールセンターによる病床等一元管理
- 要介護高齢者等専門の宿泊療養施設設置

滋賀独自モデル

❸社会経済文化活動
- 中小企業等の資金繰り支援　制度融資総額:**3,369億円**(R4.3末)
- 特例貸付による生活者支援　貸付総額:**233億円**(R4.3末)
- 止めなかった文化の灯「びわ湖ホール」 第68回菊池寛賞

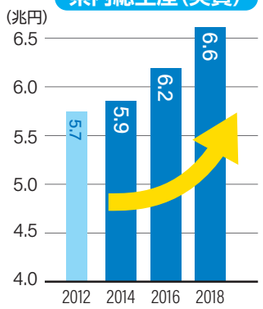
長引くコロナ禍

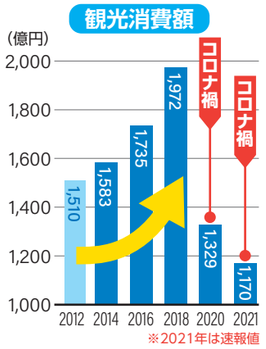
未来・前進・滋賀！

つくる力
活かす力
つなげる力

社会・経済の健康

❶「障害者差別のない共生社会づくり条例」制定(H30)
❷「ビワイチ」第1次ナショナルサイクルルート指定(R1)
❸「滋賀県が締結する契約に関する条例」制定(R3)
❹「ここ滋賀」の開設(H29 オープン、R4 リニューアル)



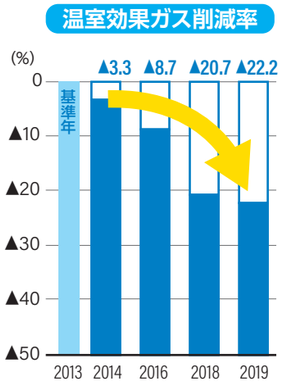


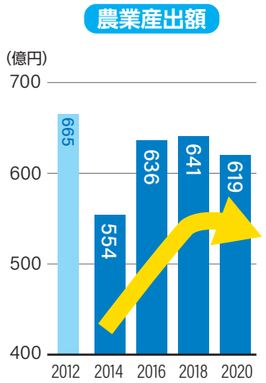
※2021年は速報値

交通事故死傷者数　2012年:10,498件 ➡ 2021年:3,567件
刑法犯認知件数　2012年:15,139件 ➡ 2021年:5,814件

自然の健康

❶「国立環境研究所琵琶湖分室」設置(H29)
❷「琵琶湖システム」の日本農業遺産認定(H30)
❸ MLGs(マザーレイクゴールズ)策定(R3)
❹「CO_2ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例」制定(R3)





原油・物価高騰などへの対策

総額113億円
速やかに皆様にお届けします！

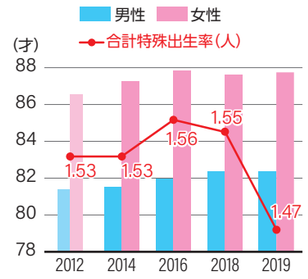
Ⅰ セーフティネット　寄り添い支える
- 制度融資(対応枠)の創設、経費高騰への支援
- 生活資金の貸付、困窮世帯の子ども・若者支援 など

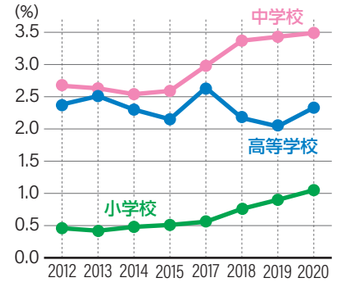
Ⅱ ピンチはチャンス　チャレンジ！
- CO_2ネットゼロ技術開発や省エネ再エネ設備導入の支援 など

Ⅲ 感染症対策　引き続き強化
- 検査体制・医療提供体制の強化 など

ひとの健康

❶ 乳幼児医療費・多子世帯保育料の無料化(H28)
❷「うみのこ」新船の就航(H30)
❸ 全県立学校のエアコン整備(R2)
❹ 美術館のリニューアル(R3)





8年間の成果と課題

2014～2022

おかげさまで滋賀県知事として八年。
皆さまとともに日々活動してまいりました。
重責に押しつぶされそうな時もありましたが、
今まで生きて務めを担ってこられましたのは
皆さまのご理解とご支援の賜物です。
深く感謝いたします。
△二年目に入ったコロナ禍、
△ロシアによるウクライナ侵攻、
△長寿化と少子化、人口減少、
△気候危機ともいえる地球温暖化、…等
先行きが見通せない不安はありますが、
◎琵琶湖をまん中にやまに囲まれた豊かな自然があり、
◎その中で育まれた歴史と文化、産業があり、
◎お互いを思いやり支え合う人びとがいる。
私たちの誇りです。同時に未来への光です。
滋賀の力を活かして、滋賀らしく
シガリズムで健康しがをつくるため、
これからも元気に活動してまいる所存です。
皆さま、一緒にがんばりましょう!!

音月大造

ひとづくり

子ども・子ども・子ども

～ チルドレン・ファースト　滋賀の宝もの　みんなで育てる ～

①生まれる前からの切れ目のない子育て支援

●医療費無料化の拡充検討／「滋賀県版ネウボラ」の普及／出産に伴う様々な困難への対応強化／「リプロダクティブ・ヘルス&ライツ」の普及／リトルベビー対策の充実 など

②困難を抱える子どもへの支援

●4か所目の子ども家庭相談センター新設／小中高連携による不登校・ひきこもり支援／ヤングケアラー・ケアリーバー支援 など

③ICT活用による「生きる力」、「確かな学力」の向上

●個々の学びの把握と検証／体験活動と教科の連動（うみのこ・ホールの子・アートの子・つちっこ等）／多様で柔軟な学びの場づくり（副籍等）／幼保小接続による学びの質の向上 など

④笑顔あふれる学校づくり

●特別支援学校のあり方検討（併設、分離新設等）／教職の魅力向上と発信／魅力ある高校づくり（STEAM教育※、国際バカロレア、実務実践教育等）

※科学、技術、工学、芸術および数学の学習を実社会での問題発見・解決に活かしていくための教科横断的な教育のこと

⑤（仮称）子ども基本条例の制定

●子どもの権利保護、意見表明権の明記／子どもコミッショナー・子ども県政モニターの検討 など

滋賀の産業　ひとづくり

①新しい滋賀の高専づくりの準備促進

●令和9年（2027年）春の開校

②県立大学のあり方検討

●修学環境の整備／学部再編・新設の検討 など

③企業（起業）人材の育成・確保

④農業・林業・水産業・畜産業の担い手の育成・確保

滋賀の社会　ひとづくり

①地域の安全のために防災人材の育成・確保

②スキルアップや自己実現のための学び直し

●大学コンソーシアムとの連携強化／レイカディア大学、シルバー人材センター等の充実

●夜間中学の設置検討 など

③地域づくり人材の育成・確保

●近江環人・地域プロデューサー など

滋賀の医療福祉　ひとづくり

①医療福祉人材の育成・確保

●医師・看護職・リハビリ専門職・介護職・保育士・子どものこころ専門医 など

●総合保健専門学校のあり方検討 など

②働き続けることができる勤務環境づくり支援

社会・経済の健康

◆ すべてのひとに居場所と出番がある共生社会づくり　◆ つくる力とつなげる力で暮らしに安心と活力を！

安全・安心の社会づくり

①多文化共生社会の滋賀づくり（県内でも国際交流）

●友好州省他とのローカル トゥ ローカル交流の促進（日中青少年交流等）／戦後80年戦没者追悼・慰霊／オーストリア共和国との連携 など

②障害者差別のない共生社会づくり

●多様な交流の場や居場所の創出／コミュニケーション条例の検討 など

③地域防災力の強化

●ハード・ソフト両面からの流域治水対策／地震・原子力災害・土砂災害対策／女性や外国人の参画 など

④交通事故・犯罪防止対策の強化

⑤人権尊重の社会づくり

●LGBTQに関する理解促進 など

地域公共交通の充実

①「（仮称）滋賀地域交通ビジョン」づくり（県民参画で…）

②滋賀の交通ネットワークの維持強化

●バスはじめ二次交通の充実／鉄道利用の促進／近江鉄道線の活性化と上下分離方式による経営改革 など

③バリアフリー化・デジタル化・スマート化の推進

●オンデマンド交通や自転車交通の充実／次世代交通（MaaS、自動運転等）の検討・実証実験 など

④移動を支えあい交通をより良くするための税制（交通税）の検討推進

社会資本の着実整備

①みち　府県と市町をつなぐ道路網の充実強化

●国道1号や8号、161号等バイパス整備の推進／新名神高速道路等（スマートIC含む）整備の推進／名神名阪連絡道路の整備着手 など

②みず　河川整備等

●日野川や安曇川、姉川、高時川等河川整備の推進／大戸川ダム・瀬田川改修の推進／農業水利施設・基盤整備の着実実施 など

③まち

●都市計画基本方針に基づくまちづくりの推進 など

④グリーンインフラの推進

●「（仮称）滋賀のグリーンインフラ取組方針」の策定 など

⑤物流機能の強化

●インフラ整備の進展を活かした物流拠点の整備（誘致） など

ビワイチの推進　条例に基づく

①安全な通行空間の計画的整備

②「サイクリストに優しい宿」の普及

③関連商品・サービスの開発

コロナ禍からの経済回復の支援

＜中小企業＞

●中小企業活性化推進基金による支援／中小企業活性化推進条例の総括・検証 など

＜商工業＞

●地場産業の技術力と発信力の強化／社会課題を解決するビジネス（イノベーション）の創出／スタートアップ支援（テックグランプリ等）／事業承継の推進 など

＜農業＞

●農業のスマート化と六次産業化／環境こだわり農業の進化（オーガニック農業の拡大）／近江米新品種の完成／近江のいちご「みおしずく」等園芸作物の振興／健康効果を前面に出した近江茶（緑茶）のPR など

●ネオニコチノイド系殺虫剤等の影響研究 など

＜地域特産＞

●「未来の養蚕創造プロジェクト」・「発酵産業プロジェクト」の推進／淡水真珠の振興 など

＜水産業＞

●資源管理の徹底と販売促進の強化による「儲かる漁業」づくり／漁業協同組合の統合推進／びわ湖の伝統漁法の継承 など

＜畜産業＞

●近江牛等の振興（ブランド力強化と販売促進、防疫対策の徹底）／「動物の福祉（アニマルウェルフェア）」に配慮した畜産業への挑戦開始 など

＜観光業＞

●新しい旅「シガリズム」の発信／JRデスティネーションキャンペーンの誘致 など

滋賀の活力づくり

①大阪・関西万博への参画

●「健康しが」の発信と滋賀への効果波及 など

②DXによる関係人口の創出

●デジタルプラットフォームやコミュニティ通貨の活用 など

③人口減少地域の創生支援

●米原駅や敦賀駅※、インターチェンジ等の強みを活かした賑わい創出 など　※令和5年度（2023年度）末 北陸新幹線開業予定

④ワーケーションの推進

●近江ゆかりの企業と連携した逆参勤交代 など

⑤フィルムコミッション機能の充実

●映像拠点の誘致／『塞王の楯』等滋賀ゆかりの作品の映画化支援 など

⑥首都圏等での情報発信の充実

●「ここ滋賀」の充実強化／海外メディアへの発信強化 など

⑦女性活躍・ダイバーシティの推進

次世代の滋賀の産業づくり

①工業技術センターの機能強化

●東北部でのCO_2ネットゼロ推進 など

②テクノカレッジの再編検討

③世界の潮流（ゲームチェンジ）を踏まえた産業創造（誘致）

●ICT（データセンター等）やEV関連、バイオ、コンテンツ など

④「（仮称）デジタル・スマートしが構想2030」の検討

●アイデアを生み育てる産官学金による共創会議（プラットフォーム）の立ち上げ など

コロナに負けず みんなでつくろう！ 健康しが

ひとの健康

◆ 人権と多様性の尊重　◆ 生きる力と学ぶ力で“いきいきワクワク、夢ある人生”

先を見据えた感染症対策

①感染症危機管理対応の強化
- 保健所の体制強化／保健所業務の効率化と連携推進 など

②（仮称）「感染症予防対応計画」の策定

③衛生科学センター整備（検査体制強化等）の検討

健康づくりの推進

①みんなでつくる「健康しが」（共創）
- 「健康しが共創会議」の更なる活性化／BIWA-TEKUアプリの充実／「笑い」の効用活用 など

②“食べる”健康の推進

③予防対策の強化
- がん検診受診率の向上／糖尿病重症化予防対策の強化 など

“いつも、いつまでも安心”滋賀の医療提供体制づくり

①持続可能で期待に応えられる県立病院へ
- 経営のあり方検討（経営形態見直し等）／コロナ後遺症外来の検討など

②より良い医療・在宅療養サービスの提供
- びわ湖あさがおネットの普及促進 など

③ケアの充実
- 地域包括ケアシステムの充実／ACP※の普及・推進／グループホームの重点整備 など

※将来の医療やケアについて、本人による意思決定を支援するプロセスのこと

④湖北医療圏等の病院機能再編

メンタルヘルスケアの充実

①認知症・フレイル対策の強化

②こころの悩みに寄り添う対策の充実
- 自殺対策／ひきこもり家族の支援／各依存症対策 など

文化・芸術やスポーツを通じた元気づくり

①文化財の保全と活用
- 新文化館（大津港）の設置検討の推進 など

②文化・芸術を育む環境づくり
- 障害ある人も高齢者も子育て中の人も楽しめる機会の提供／びわ湖ホールの大規模改修／新しい美術館の検討着手／絵画や書道、オーケストラ等の文化芸術活動の支援 など

③令和7年（2025年）の国スポ・障スポ大会へ
- 競技力向上対策／次世代アスリートとボランティアの育成 など

④スポーツを楽しむ環境づくり
- 新マラソン大会の実施／「（仮称）びわ湖・若鮎駅伝（全国中学校駅伝）」の実施／eスポーツ環境の整備 など

⑤“近江の城13００”の魅力発信
- 国宝・彦根城の世界遺産認定実現／「幻の安土城復元プロジェクト」の推進（令和の大調査、築城450年祭の検討着手） など

ひととすべての生き物、自然とのつながりづくり　ワンヘルス

①ひとと動物の豊かな関わり
- 犬猫とのふれあいの場づくり など

②生物多様性の保全
- 固有種の保全／淀川源流の森等を活用したエコツアー など

“魅力ある公園”づくり

①県営（都市・自然）公園の魅力向上

②希望が丘文化公園の活性化

③びわこ文化公園都市のにぎわい（つながり）創出

④矢橋帰帆島の活性化

「健康しが」の基盤づくり

より良き自治の追求

①滋賀が誇る図書館の機能とネットワークの充実
- デジタル化とバリアフリー化／ネットワークの充実強化（企業や大学、学校、市町立の図書館と県立図書館の連携強化）／「（仮称）しがこどもとしょかん」の設置検討 など

②届ける広報とみんなで熟議の滋賀県政
- 県民の声の可視化（ビッグデータ活用）／広報誌のデジタル化／県ホームページの改修
- 死生懇話会や税制審議会等での議論活発化
- びわ湖放送の戦略的活用 など

県政150周年から一歩

- 公文書の適正管理と公開／県史編纂事業の着実な推進 など

DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進

①“手のひらスマート県庁”の実現
- “スマホでカンタン!お手元で”行政手続き（ワンストップ・ワンスオンリー）など

②公金収納方法の多様化・デジタル化

③デジタル・ディバイド（情報格差）の解消

行財政基盤の強化

①県政経営改革方針の策定
- 財政の持続可能性の確保（収支見通し等）／県民視点・デジタルファーストからの業務再設計／EBPMの確立（データサイエンス活用等）／県有地（施設）の有効活用／出資法人のあり方検討 など

②健康経営・ダイバーシティの推進
- 柔軟な働き方の検討 など

自然の健康

◆ 生態系サービスは人間生存の礎　◆守る力と活かす力で琵琶湖の保全と再生を！　源の「やまの健康」から

琵琶湖の保全再生

①びわ湖版のSDGs「MLGs」（マザーレイクゴールズ）の推進
- 観光客や釣り人はじめすべての人びとと連携した取組の強化 など

②「びわ活」の推進
- 「びわ湖の日」の強化／下流域との共感による「びわ活」推進・びわ湖の価値再発見 など

③外来動植物対策の強化
- 外来魚等の駆除徹底／水草の刈り取り、除去、ビジネス利用 など

④内湖の再生
- ヨシ群落保全と活用／ビオトープの整備 など

⑤「琵琶湖システム」の世界農業遺産認定実現と発信強化

やまの健康2.0

①生業（林業）の成長産業化
- 県産材の利用促進（公共建築物の木造木質化等）／主伐再造林（少花粉苗）の推進 など

②森林整備
- ゾーン分け（奥地人工林の天然林化、里山の保全と活用等）など

③農山村活性化（暮らし・遊び・学び・文化）
- 関係人口の創出／木育の推進（木のおもちゃ美術館の検討等）／「森のようちえん」の普及 など

④“植樹祭のレガシー”づくり
- 企業等と連携した森づくり（価値づくり）／高校林業科の新設検討 など

地域循環型社会の構築

①地域循環型エネルギーの創出と活用
- エネルギー作物（菜の花等）の利用促進 など

②サーキュラーエコノミー
- リサイクルの促進／プラスチックごみ・フードロス対策の強化／びわ湖のマイクロプラスチック対策 など

③（仮称）「琵琶湖バイオマス資源循環構想」の策定
- 下水汚泥のコンポスト化／バイオガス発電の推進 など

CO_2ネットゼロ

①ゲームチェンジ（ライフスタイル・地域づくりの転換）
- ムーブメント創出（取組の見える化、びわ湖カーボンクレジット活用等）
- 省エネ・再エネの更なる推進／次世代自動車・超小型モビリティの普及／公共交通の積極利用
- モデル地域づくり（ネットゼロビレッジ、学校のネットゼロ防災拠点化等） など

②革新的なイノベーションの創出
- 水素社会づくり（水素戦略の策定等） など

③脱炭素先行地域でのチャレンジ
- 市町、企業、大学等との共創 など

④再生可能エネルギーの更なる普及
- 再エネ可能性調査／太陽光パネルのリユース・リサイクル等の検討／ゼロ円ソーラー（PPAモデル）の積極導入／VPP（仮想発電所）の検討 など